

# 目次

はじめに

第一章 歴史編 1 ルーツを探る…………… 1

——「本当の労働組合」の源流は中世ギルドにある

1 労働組合の遠祖・ギルドの原理…………… 2

2 中世市民社会と日本でのその不在…………… 10

3 職人組合から労働組合へ…………… 16

第二章 歴史編 2 「団結せよ、そして勤勉であれ」…………… 25

——職業別労働組合の時代

1 近代市民社会の形成と論理…………… 26

2	初期労働組合の形成	34
3	産業革命と労働者の階級形成	46
4	職業別労働組合の確立	52

第三章 分析編 1 労働組合の機能と方法……………67

1	労働組合とは何か	68
2	労働組合と政党	75

第四章 歴史編 3 よるべなき労働者たち……………79

——一般労働組合の時代

1	新労働組合運動(ニュー・ユニオンズム)の台頭	80
2	一般労働組合の基盤と組合政策	90
3	労働組合の形態転換と労働政治	98

第五章 歴史編 4 アメリカの経験……………107

——産業別労働組合への道

1	労働運動の二つの潮流	108
2	職業別組合の限界と産業別組合の挫折	112
3	労働者の企業別分断と産業別組合の対抗	119

第六章 分析編 2 いかにして社会を変えるのか……………133

——ユニオンズムの機能

1	産業化の新しい段階と産業別労働組合	134
2	労働組合機能の発展	139
3	産業別組合組織と産業別統一闘争	148

第七章 歴史編5 日本の企業別労働組合

——日本の労使関係の形成・衰退

155

1 戦前第一期 157

——「渡り職工」と横断的労働市場

2 戦前第二期 160

——戦前期労働運動の高揚と弾圧

3 戦前第三期 164

——日本の労使関係の戦前期形成

4 戦後第一期 172

——労働運動の高揚と日本的労使関係の形成（一九四五～六〇年）

5 戦後第二期 185

——企業主義的統合と労使協調の労働組合（一九六〇～七五年）

6 戦後第三期 198

——労働戦線統一と総評解散（一九七五～九〇年）

7 戦後第四期 202

——戦後労働運動の危機とユニオニズムの創造（一九九〇年～）

第八章 分析編3 日本のユニオニズムを創れるのか……………207

1 時代の転換と働く者の悲惨 208

——雇用不安、貧困、過酷な労働

2 日本における産業別労働組合の登場 224

3 ユニオニズムの主役はどこにいるのか 250

4 ユニオニズムの創り方 260

あとがき 279

参考文献 281